

# 滋賀県の地質と化石

350万年～50万年くらい前

こびわこそうぐん

## 古琵琶湖層群

過去の琵琶湖やその周りの川などにたまった地層。丘陵のガケや湖東平野の地下でみられる。



地層が見えるところ  
(水口町笹が丘での工事中)



泥の層から貝化石が見つかる

1700万年くらい前

あゆがわそうぐん

## 鮎河層群

浅くて暖かい海にたまってできた地層  
土山町と甲賀町だけに見られる



地層が見えるところ (土山町)



ピカリアの化石

7000万年くらい前

かこうがん ことりゅうもんがんにるい

## 花崗岩と湖東流紋岩類

マグマが固まってできた岩石



花崗岩がよく見える場所  
(土山町武平峠)



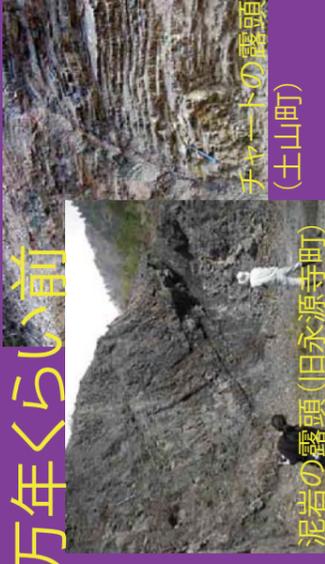
火山があったことがわかる岩石  
(溶結凝灰岩：東近江市永源寺)

2億年～1億6000万年くらい前

でいがん

## 泥岩など

深い海にたまってできた岩石が  
ジュラ紀に大陸の端に集まった



チヤート(土山町)

泥岩の露頭(旧永源寺町)

2億8000万年くらい前

せっかいがん

## 石灰岩

サンゴ礁のような暖かい海でできた岩石  
伊吹山や多賀町権現谷などでは  
化石が見つかります。



石灰岩のガレ場で化石を  
さがす (多賀町権現谷)

## もっと詳しい説明

地質時代	地層・岩体	地史の概要
第四紀	沖積層	沖積層の堆積
更新世	河岸段丘	河岸段丘の形成 鈴鹿山地の形成
鮮新世	古琵琶湖層群	湖東から濃田にかけて深い湖層の堆積 湖底は現在の琵琶湖に埋め込まれ、湖沼の堆積物となる
中新世	鮎河層群	甲賀・甲斐郡に湖沼堆積物となる 上野盆地に湖沼堆積
白垩紀	湖東流紋岩類	湖東地域の中心に激しい火山活動 地下では花崗岩の形成
白亜紀	花崗岩類	山地の浸食と準平原化
中生代	中生層 (白垩・新第三紀)	大津のへりに付加 (付加体の形成) 大津層の海底に砂や泥の堆積 (砂岩・泥岩の形成) 深淵部に放射虫の沈積 (チャートの形成)
古生代	石灰岩	熱帯の浅海でサンゴ礁 (石灰岩の形成) 南方遠洋で海底火山活動 (緑色の形成)

## 滋賀県の地質図

滋賀県のどの場所がどんな地層や岩石でできているかを色分けした図。色の説明は右側を見て下さい。

